

【公開用】

I 類 B 専 門 問 題

平成 29 年 9 月 施行 職員採用（保健師）

指示があるまで開いてはいけません。

注 意

- 1 問題は全部で 17 題あり、ページ数は 16 ページ、試験時間は 1 時間 30 分です。
- 2 解答用紙は、全部で 7 ページです。
- 3 択一問題については、選択肢（1～4）の中から正答を一つ選び、その番号を解答用紙【択一】に記入してください。
- 4 記述問題については、解答を解答用紙【記述】(A～E) に記入してください。
- 5 この問題用紙は、持ち帰ることができます。

1

平成25年4月に厚生労働省が通知した「地域における保健師の保健活動に関する指針」に述べられている「活動領域に応じた保健活動の推進」の説明について、空欄に当てはまる語句として、正しい組み合わせはどれか選びなさい。

に所属する保健師は、各種保健医療福祉計画の策定に参画し、広域的にとの調整を図りながら、と重層的な連携体制を構築しつつ、保健、医療、福祉、介護等の包括的なシステムの構築に努め、ソーシャルキャピタルを活用した健康づくりの推進を図る。

	A	B	C
1	市町村	関係機関	管轄保健所等
2	市町村	管轄保健所等	各自治体本庁
3	都道府県保健所等	関係機関	管内市町村
4	都道府県保健所等	管内市町村	各自治体本庁

隣接県でデング熱が発生したとの報道を聞いた都民から、保健所へ「蚊に刺され、デング熱が心配」という電話があった。この電話を最初に受けた保健師の対応として最も適切なものはどれか選びなさい。

- 1 すぐに医療機関受診が必要なため、医療機関案内の担当へ電話をつないだ。
- 2 デング熱の発生は隣接県のため、心配がないことを伝えた。
- 3 蚊のサーベイランスを実施している環境衛生担当へ電話をつないだ。
- 4 健康状態の確認をし、状態の変化に応じて受診するよう伝えた。

A保健所では、比較的元気な高齢者が、結核の診断とともに仕事を辞めてしまったり、地域のサークル活動に参加できなくなった事例が重なっていた。特に単身高齢者においては、閉じこもり傾向になってしまい受診意欲が低下する事例もあり、治療中断が課題となっていた。そこで、A保健所で患者支援の一環としてグループ活動を開始することとした。

このグループ活動の評価の視点で、最も重要なものはどれか選びなさい。

- 1 参加者数
- 2 参加者ごとの参加回数
- 3 結核の治療完了者数
- 4 参加者ごとの受診（結核医療）回数

Aさんは35歳女性で、4か月になるBちゃんと夫との3人暮らしである。

Bちゃんを出産する前に「Aさんはうつ病治療中に出産後の育児困難が予想される。」と出産した病院から市保健センターに連絡が入っていたため、市の助産師が産前産後に定期訪問をしていた。

先日、市保健センターから「乳児健康診査の場で確認したところ、Aさんがうつ病の通院を中断しているようなので、保健所からも治療継続の支援をしてほしい。」と保健所に連絡が入った。

保健所保健師の対応として、不適切なものはどれか選びなさい。

- 1 定期訪問していた助産師との同行訪問を計画する。
- 2 市保健センターから、今までの生活や育児状況、支援経過を把握する。
- 3 養育困難が予測されるため、まず児童相談所への相談を勧める。
- 4 Bちゃんの発育、発達状況を乳児健康診査の結果から把握する。

Cちゃんは1,000gの低出生体重児として生まれたため、NICUで治療を開始した。母乳の消化や呼吸状態が悪いため、人工呼吸器を装着し、その他の医療処置として経管栄養、酸素吸入を行っている。現在、生後8か月で、体重も2,500gを超え、家族が希望する在宅療養に向けて準備を行うことになった。

この時期の保健師の対応として、最も適切なものはどれか選びなさい。

- 1 家族の負担を軽減できるような制度について説明し、その利用を支援する。
- 2 人工呼吸器を装着しているため、療育手帳の申請について説明する。
- 3 定期的な訪問は訪問看護ステーションに任せ、緊急時のみ同行訪問する。
- 4 訪問介護の導入については、介護が必要になった時点で検討する。

Dさんは50歳の女性で、脊髄小脳変性症である。難病医療費助成制度の初回申請をきっかけに保健師が把握した。

初回訪問を計画するためにDさんへ電話をしたところ、「夫と2人暮らしで、パート勤務をしながら家事を担っている。近くに長男夫婦と孫が住んでいる。歩行時にふらつきがあり、受診した結果、脊髄小脳変性症と診断された。長男や孫も同じ病気になるのだろうか。」と不安そうに話した。

初回訪問での保健師の対応として、最も適切なものはどれか選びなさい。

- 1 長期的な療養に向けた本人、家族の考えを聞き、住宅改修を勧める。
- 2 歩行機能の低下がみられるので、訪問リハビリの導入を勧める。
- 3 脊髄小脳変性症は遺伝性疾患の可能性があるので、遺伝相談を紹介する。
- 4 診断を受けた経緯、生活の困りごとや不安なことを中心に話を聞く。

7

肝炎に関する記述について、空欄に当てはまる語句として、正しい組み合わせはどれか選びなさい。

わが国では、肝炎のうち、ウイルスによるもの（ウイルス性肝炎）が80%を占め、現在A型、B型、C型、D型、E型の5種類が確認されている。

厚生労働省による推計では、肝炎ウイルスの持続感染者（キャリア）は300万人を超えている。これらの中には、集団予防接種の際の注射器の連続使用による  ウイルスへの感染、特定の血液凝固因子製剤へのウイルス混入による  ウイルスへの感染なども含まれている。

現在、ワクチンができているのは、  と  である。

	A	B	C	D
1	C型肝炎	B型肝炎	A型	B型
2	B型肝炎	C型肝炎	B型	C型
3	C型肝炎	B型肝炎	B型	C型
4	B型肝炎	C型肝炎	A型	B型

いじめに関する記述について、誤っているものはどれか選びなさい。

- 1 文部科学省が平成26年にいじめの認知件数を把握するために行った緊急調査では、「個々の行為が『いじめ』に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒及び保護者の立場に立つて行うものとする。」としている。
- 2 いじめに関する学校の取組のポイントとして、文部科学省は、①実効性ある指導体制の確立、②適切な教育指導、③いじめの早期発見・早期対応、④いじめを受けた児童生徒へのケアと弾力的な対応、⑤家庭・地域社会との連携をあげている。
- 3 いじめを受けた児童生徒へのケアとして、スクールカウンセラー等の活用や養護教諭との連携を積極的にはかるなど教育相談をより充実させた心のケアや、緊急避難としての欠席、席替え等、いじめを継続させないための弾力的な対応を行うことも必要である。
- 4 いじめの問題については、学校のみで解決することに固執せず、学校・家庭・地域社会などすべての関係者がそれぞれの役割を果たし、一体となって真剣に取り組むことが必要である。



9

東京都の災害対策に関する記述について、不適切なものはどれか選びなさい。

- 1 災害対策基本法に基づき、地域防災計画を策定している。
- 2 二次保健医療圏ごとに災害拠点病院を整備している。
- 3 DMAT (Disaster Medical Assistance Team) を整備している。
- 4 指定避難所（一次避難所、二次避難所）を指定している。

10

東京都の保健所で実施している保健師の精神保健福祉相談について、相談者本人から相談記録の開示請求があった。保健所の対応として、最も適切なものはどれか選びなさい。

- 1 相談記録は開示の対象とならないため、不開示とした。
- 2 個人情報等の非開示情報を除き、一部開示とした。
- 3 請求者が相談者本人のため、その場で全部開示とした。
- 4 相談記録は機密文書のため、記録の存否を明らかにせず請求を拒否した。

疾病頻度の指標について、ある一時点を表している指標として、正しいものはどれか選びなさい。

- 1 有病割合
- 2 累積罹患割合
- 3 生存割合
- 4 罹患率

次の文章の空欄に当てはまる語句として、正しい組み合わせはどれか選びなさい。

わが国における成人・高齢者保健対策は、を中心に行われてきた。

しかし、人口の高齢化とともに、介護を必要とする高齢者が増加したことに伴ってが制定され、さらに介護を必要としない健康な高齢者になることを目指して、生涯を通じて住民が主体的に自分の健康を守るという考えのもとに、平成14年にが制定された。

	A	B	C
1	老人保健法	介護保険法	健康増進法
2	老人保健法	高齢者医療確保法	健康増進法
3	老人福祉法	老人保健法	高齢者医療確保法
4	老人保健法	介護保険法	健康日本21

13

保健所管内の自立支援医療（精神通院）は年々増加している。

統合失調症を例に、住み慣れた地域で生活を続けられるようにするために、保健所が行う①個別・集団支援活動、②地区組織育成活動、③地域のケアシステム作りについて、それぞれの事業や活動の一つあげ、その内容を説明しなさい。

解答は、解答用紙 **A** に記入しなさい。

14

障害者総合支援法による福祉サービスにかかる自立支援給付等の体系について、各給付の主なサービス名を介護給付に関するものを三つ、訓練等給付に関するものを二つあげ、それぞれのサービスの内容を記載しなさい。

【解答例】

介護給付

サービス名	内 容
重度訪問介護	重度の肢体不自由者で常に介護を必要とする人に、自宅で、入浴、排せつ、食事の介護、外出時における移動支援などを総合的に行う。

解答は、解答用紙 **B** に記入しなさい。

都内において、はちみつ摂取が原因と推定される5か月児の死亡事例があった。推定される死因は、四類感染症に類別される疾患とのことだった。

この疾患について、次の設問に答えなさい。

- 1 この疾患名は何か。
- 2 この疾患の原因となる病原体は何か。
- 3 この疾患の主な症状を三つあげなさい。
- 4 この疾患について、既存の保健事業等を活用し予防に向けた取組を行うことにした。どのような事業を活用し、どのような内容（予防法）の取組をするか述べなさい。

解答は、解答用紙 

C
---

 に記入しなさい。

認知症の人が認知症とともによりよく生きていくことができる環境づくりを目指す、「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」で設定された七つの柱について、空欄に適切な語句を記入しなさい。

- 1 認知症への理解を深めるための  の推進
- 2 認知症の容態に応じた適時・適切な  等の提供
- 3  施策の強化
- 4 認知症の人の介護者への支援
- 5 認知症の人を含む高齢者にやさしい  の推進
- 6 認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発およびその成果の普及の推進
- 7 認知症の人やその  の視点の重視

解答は、解答用紙  に記入しなさい。

- 1 下表は、三つの国際協力に関わる機関をまとめたものである。空欄に適切な機関の名称を記入しなさい。

名 称	概 要
a	本部はジュネーブにあり、世界を6地域に分け、それぞれに事務局をおいている。日本は、西太平洋地域事務局に属している。
b	第二次世界大戦後の戦災国の児童への緊急援助を目的に設立。現在では、子どもの基本的人権の実現を使命に幅広く活動している。
c	わが国の政府ベースによる国際保健医療協力の主たるもの。開発途上国からの研修生の受入れ、専門家派遣、機材供与などの形態の協力が行われている。

- 2 次の記述は、国際生活機能分類（ICF）に関するものである。空欄に適切な語句を記入しなさい。

「国際生活機能分類」（ICF）は、「国際障害分類」（ICIDH）の第2版として、平成13（2001）年に、の総会で採択された。国際連合の障害者の権利に関する条約（平成18（2006）年）とわが国の（平成23（2011）年改正）における障害の概念は、ICFに基づくものである。

ICFの考え方は、疾病や老化によって心身の機能が障害され（機能障害）、それによって日常生活活動が制限されたり（活動制限）、社会生活に参加することに制約（参加の制約）が生じ、それにや個人の特性が加わって対象者の健康状態が決定されるというものである。

解答は、解答用紙に記入しなさい。

【 メ モ 】